

3. 地球温暖化のこと

(1) 地球温暖化ってなに？

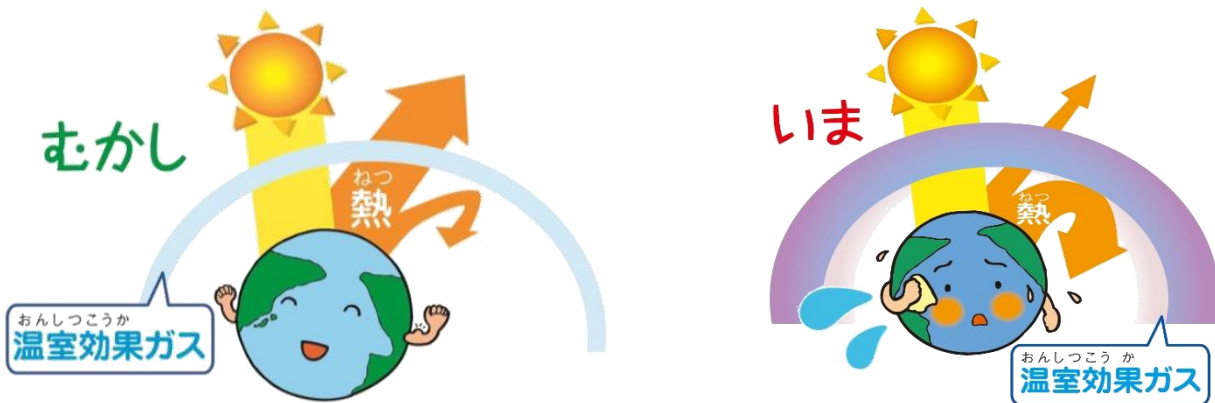
地球はもともと二酸化炭素^{にさんかたんそ}※¹やメタン^{すいじょうき}※²、水蒸気^{おんしつこうか}などの「温室効果ガス」^{おお}に覆われています。
 この「温室効果ガス」が太陽からの熱^{ねつ}を吸収^{きゅうしゅう}して、地球は生物の生息・生育^{てきど}にとって適度な温度^{たも}に保たれています。

しかし、1750年代頃^{ごろ}から始まった産業革命^{さんぎょうかくめい}※³から石炭や石油などを多く使うようになり、二酸化炭素などの「温室効果ガス」^{たいりょう}が大量に空気中に出されています。その結果、^{けっか}「温室効果ガス」が熱をより多く吸収し、地球全体の気温が上がり始めています。これが地球温暖化です。

※1 二酸化炭素…物を燃やす時に発生します。

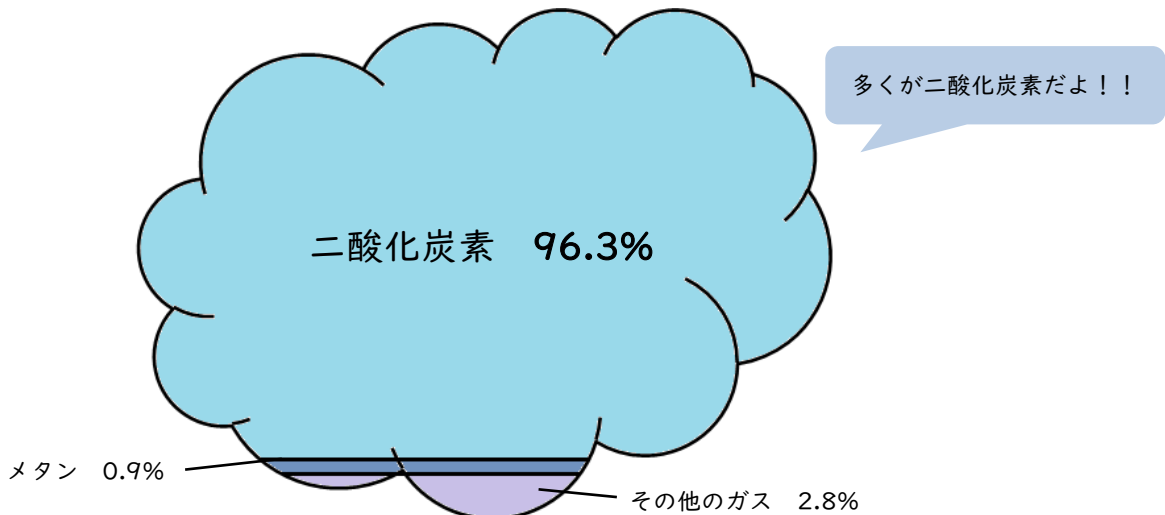
※2 メタン…動物のゲップ、ふんから発生します。

※3 産業革命…イギリスからはじまった、世界的な工業化（大きな工場での機械^{きがい}による物づくり）



日本から出る温室効果ガスの90%以上は二酸化炭素^{いじょう}です。

令和2年度に岐阜市から出た温室効果ガスの中身



3. 地球温暖化のこと

(2) 地球温暖化で何がおこるの？

島が沈む！！

海面が上昇し、島が海に沈んでしまうかもしれません。



食べ物が減る！！

気候が大きく変わること、農作物が育ちにくくなり、食べ物の生産量が減る地域が出てくるかもしれません。



新たなウイルスが！！

蚊がウイルスを運んで、暑い地方の病気が発生してしまうかもしれません。



異常気象がおこる！！

大雨が降って洪水になったり、その反対に雨が全く降らずに干ばつ*が起きたりするかもしれません。

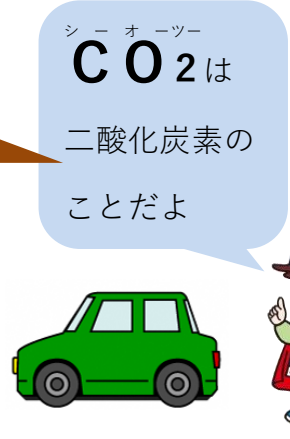
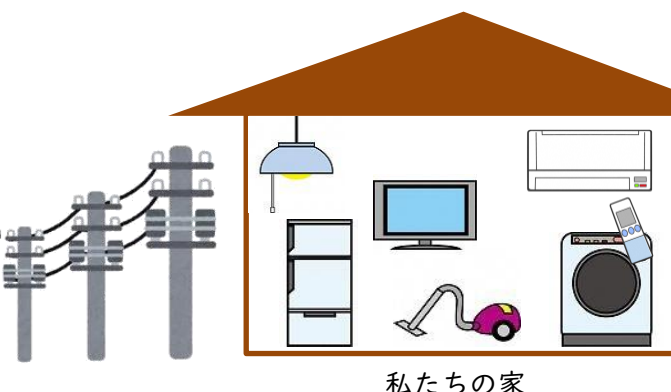


上のイラストは「全国地球温暖化防止活動推進センターホームページ」から引用しました。
※ 干ばつ…長い期間、雨が降らず地面がひどく乾く現象

(3) 二酸化炭素はどうして増えているの？

私たちが使っている電気の約8割は、石油や石炭を燃やして発電する火力発電で発電しています。石油や石炭は、燃やすとたくさんの二酸化炭素が出ます。

みんなが電気やガスを使ったり、車に乗ったりすると二酸化炭素が出て、大気中の二酸化炭素が増えてしまうのです。



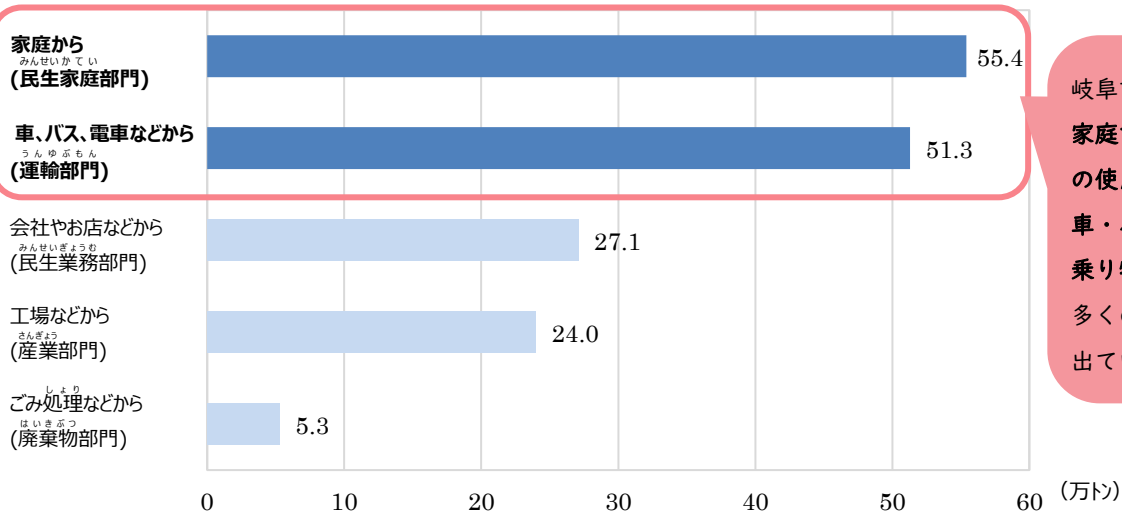
3. 地球温暖化のこと

(4) 岐阜市から出る二酸化炭素の量

令和2年度に岐阜市から出た二酸化炭素の量は163.1万トンです。

これは、岐阜市内の家、工場、会社やお店、市内を走っている車やバス、電車などが1年間に使う電気、ガス、ガソリンなどから計算しています。

令和2年度に岐阜市から出た二酸化炭素の量



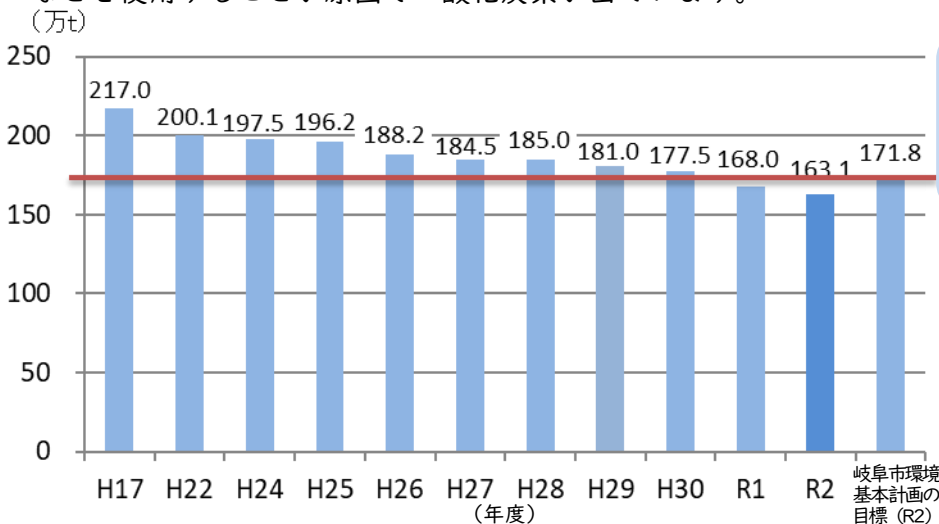
岐阜市では、家庭での電気・ガスなどの使用と車・バス・電車などの乗り物の利用の2つから多くの二酸化炭素が出ているよ。

「岐阜市環境基本計画」では、「岐阜市から出る二酸化炭素の量」を減らすことを目標にしています。

岐阜市から出る二酸化炭素の量

岐阜市環境基本計画の取り組み目標

岐阜市内の家や会社、お店、市内を走っている車やバス、電車などが電気やガス、ガソリンなどを使用することが原因で二酸化炭素が出ています。



令和2年度の二酸化炭素量は目標を達成できているね!! これからも頑張って減らそう!



岐阜市から出る二酸化炭素量は、様々な統計書の数値から計算しているため、令和2年度が最新です。

3. 地球温暖化のこと

(5) 岐阜市から出る二酸化炭素量を減らす取り組み

二酸化炭素の出る量を減らすために私たちができることは、普段の生活の中で電気やガス、ガソリンなどを少しでも使わないようにすることです。

岐阜市では、二酸化炭素の出る量を減らす取り組みとして、「メガソーラー」や「ぎふ減CO2ポイント制度」を実施しています。

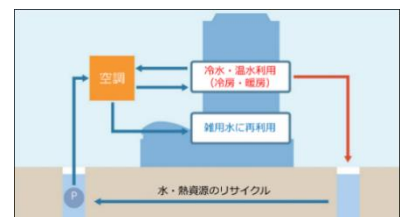
学ぼう!!

岐阜市庁舎の省エネルギー対策

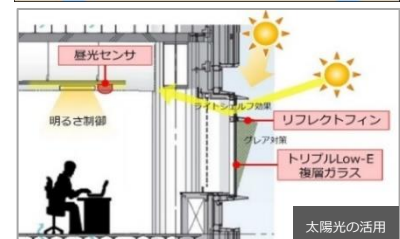
令和3年5月に開庁した岐阜市役所の庁舎は、岐阜市の特性ある気候や風土※1を活かし、「水・光・風・地」を再生可能エネルギーとして積極的に活用し、省エネルギーに配慮しています。



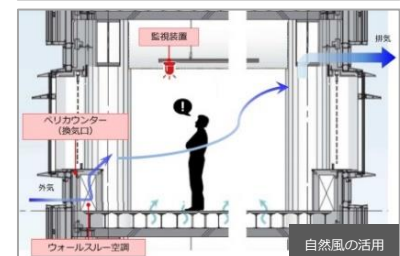
水 豊富な地下水を活用して、空調システムに利用する他、トイレの洗浄水や屋外の散水に活用しています。



光 屋上に太陽光パネル、4階に太陽熱集熱器を設置した他、窓に設けた庇で太陽光を室内に取り込んで照明の消費電力を抑えています。



風 室内に自然通気を取り入れる換気口を設け、夜間の空気を取り入れて夏季の翌朝の空調の負荷を抑えています。



地 免震層※2の空気は地中熱の影響を受け年間を通して空気が安定しているため、これを取り入れて空調の負荷を抑えています。



※1 風土…土地の気候や地形、地質、景色の総称

※2 免震層…地震による揺れを抑えるため建物の基礎の上に設ける部分

3. 地球温暖化のこと

ドリームソーラーぎふ

埋め立てが終了した（ごみを燃やした）灰の埋め立て地（北野阿原一般廃棄物最終処分場）に完成した「ドリームソーラーぎふ」（大規模太陽光発電）は、約40,500㎡の敷地面積に9,720枚の太陽光パネルを設置し、平成26年6月1日から稼働しています。

令和4年度の発電量は約277万kWhで、一般家庭約650世帯の年間使用量と同じくらいの電力量を発電します。この太陽光発電により、二酸化炭素の出る量を年間約1,244トン減らすことができます（36～40年生のスギ人工林約141haが1年間に吸収する二酸化炭素量に相当）。

また、「ドリームソーラーぎふ」の敷地内には見学通路の他、発電量を示す表示板や展望台があり、それを利用して、自然エネルギーについての環境学習も行われています。



ぎふ減CO2ポイント制度



家庭から出る二酸化炭素を減らすとポイントが貯まり、ポイントを集めて応募すると、抽選で「もっと省エネ啓発品」が当たる「ぎふ減CO2ポイント制度」を行っています。

家で電気・ガス・水道の使用量を節約したり、環境学習（出前講座など）を受講したり、岐阜バスを利用することでポイントが貯まります。

省エネ奨励コース

40ポイント



自動車の使用を控え、自転車で出かけましょう。

各回1台（合計3台）

気軽に省エネコース

5ポイント



■図書カード

読書をして、テレビを見る時間を減らしましょう。（1,000円分）

各回50枚（合計150枚）

他にもいろいろ当てるよ!

令和4年度は、2,281人の方々が「ぎふ減CO2ポイント制度」に参加して、141.3トンの二酸化炭素を減らすことができました。

3. 地球温暖化のこと

(6) 2050年ゼロカーボンシティぎふ

地球温暖化の原因である二酸化炭素の量を出る量を減らし、二酸化炭素が増えすぎない社会をつくるため、岐阜市は、2050年までに「ゼロカーボン（脱炭素）シティ」を目指し、令和5年5月に「岐阜市ゼロカーボンシティ」を宣言しました。

■将来像と「みらい」のまちのイメージ

まちで使う電力のほとんどが再生可能エネルギーでうごまち

とくべつに意識しなくても環境にやさしく暮らすことができるまち

自家用車に頼らなくても誰もが便利に移動できるまち

ゼロカーボンの「みらい」をめざして
みんなで「いま」からとりくむ
脱炭素都市ぎふ

どんなときでも安定して生産活動、経済活動ができるまち

大雨も、濁水もしなやかに対応し、災害への不安なく暮らせるまち

岐阜ならではの霧田気がいつまでも残るまち

■岐阜市ゼロカーボンシティ宣言

岐阜市ゼロカーボンシティ宣言

～ゼロカーボンの「みらい」をめざして みんなで「いま」からとりくむ 脱炭素都市ぎふ～

岐阜市は、清流長良川や緑豊かな金華山など、美しい自然に恵まれたまちです。
私たちは、長きに亘り、この豊かな環境を享受し、共生しながら、生活や産業、文化、歴史を育んできました。

しかし、近年、地球温暖化に起因するといわれる気候変動により、世界的に深刻な自然災害が発生し、本市においても、気温の上昇や大雨の増加とともに、自然生態系や水資源、市民生活や産業など、様々な分野において、その影響が顕在化しています。

今を生きる私たち一人ひとりは、この地球温暖化の問題を共有し、そして、脱炭素の行動に真摯に取り組み、本市の恵み豊かな環境と安心できる生活を、未来を担う子ども達に継承していかなければなりません。

また、積極的に脱炭素の取り組みを進めることは、これまでの産業構造や経済社会の変革をもたらす、大きな成長に繋がるチャンスであります。

そこで、本市は、2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにすることを旨とし、市民・事業者・行政の「オール岐阜」の力を結集し、「ゼロカーボンシティ」の実現にチャレンジすることをここに宣言します。

令和5年5月18日

岐阜市長 柴橋正直